

(様式1)

令和7年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 076	提案機関名 神奈川県 自然環境保全課
要望問題名 持続可能なニホンジカ管理に向けた各種管理事業の総合的な検証・評価	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 県管理計画がスタートした2003年度以来、約20年にわたって実施してきたシカ管理の各種モニタリングデータ等を総合的に解析して、管理捕獲や生息環境整備等のシカ管理事業の効果及び影響を検証・評価した上で、その結果をもとに持続可能なシカ管理に向けた事業手法及びモニタリング体系を再構成するために必要な情報整備をお願いしたい。 また、今後のシカ管理の進展に伴う自然植生の回復状況を、長期にわたって質的な観点から評価していくためのモニタリング指標の研究開発をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内 ※自然植生の質的回復に係るモニタリング指標の研究開発は③、その他は②
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考 本提案は、自然環境保全センターの研究部署と事業部署が、当課を始めとするシカ管理に係る行政機関や専門家、団体等と連携して取り組むことを想定しています。	

回答機関名	自然環境保全センター	担当部所	研究企画部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) シカ管理捕獲の集中実施による植生回復過程の検証（堂平プロジェクト） ニホンジカと森林の統合的な管理手法の確立			
対応の内容等 ご要望のシカ管理事業の効果検証と手法・モニタリングの再構築については、次の「第6次シカ管理計画」(R9～13)策定に向けて、現在取組んでいるところです。モニタリング指標については、現行の植生モニタリングが植被率のみでなく稚樹高や種組成等複数の指標を用意していることから対応可能です。また、シカ管理を包含した森林管理手法を検討するため、水源林のシカや植生、更新状況等の各種モニタリングデータの総合的な解析にも取組んでいます。 20年以上に及ぶシカ管理事業とモニタリングから明らかになってきたことは、「シカ管理計画」における目標密度（5頭/k㎡未満）の達成と維持は難しいこと、その密度に達しないまでも不嗜好性植物が増加している植生タイプがあること、全体としては樹木稚樹や嗜好性植物の増加は低調なことです。こうした状況を打破するために、上記課題をR5年度から開始しています。この課題により得られたデータと既存の蓄積データを関係各課で連携して解析、とりまとめ、ご要望の問題解決につなげて参ります。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			